

# 住用中、東城中の自然体験学習

# 地域の環境、文化学ぶ



奄美市住用町の住用中学校と東城中学校は5月25、26の両日、合同で自然体験学習を行いました。両校の1年生計5人が、講話やカヌー体験、自然散策などを通して地域の環境・文化について学びました。

## 1年生5人が参加

住用地区3中学校(住用、東城、市)の1年生が取り組む恒例行事。今年は市の中に新入生がいなかったため2校で実施し、住用中から4人、東城中から1人が参加しました。

1日目、生徒らは自然写真家の常田守さんによる講話で住用の自然について学んだ後、黒潮の森マングローフパークに移動。雨が降りしきる中、カヌー体験を楽しみ、午後はフナキョの滝とモタマ群生地を見学しました。

青久集落を案内した山下さんの話に耳を傾ける生徒ら  
11月26日、奄美市住用町

2日目は史跡巡り。生徒らは同町青久集落とむちや加那の碑を訪れました。集落を案内したのは同町市在

住の山下茂一さん。山下さんは集落の歴史やむちや加那伝説、住民らによって建設された石垣防波壁などについて説明し、生徒らは真剣に耳を傾けました。  
2カ月前に長野県から家族と移住したという住用中の池島千愛さんは「奄美の自然などについて知ることができて面白かった。長野は海が無かったから海がとても新鮮に感じる。世界自然遺産を実感した」と話しました。

ジュニア

